

それ、まだ捨てないで！

フラワーロス由来の端材を用いた独自アロマオイルの抽出と商業的活用の検証

本企画は、生花店から発生する廃棄花を回収し、それらからアロマオイル（精油）を抽出・開発することで、フラワーロスの削減と新たな経済価値の創出をどこまで実現できるかを検証する研究・開発プロジェクトである

日々大量の美しい花々が、わずかな傷や開花状況、売れ残りなどを理由に「廃棄（フラワーロス）」されている現実を目の当たりにしてきた。

丹精込めて育てられた植物が、顧客の目に触れる前にゴミとして処分される状況に強い問題意識を抱いたことが本企画のきっかけである。

目的は、これら廃棄予定の花々を未利用資源として再定義し、アロマオイル（精油）等の高付加価値製品へとアップサイクルする実用的な方法を確認することにある。生花店における廃棄ゼロ（ゼロウェイスト）の実現可能性と、その商業的価値の有無を問いとして掲げる。

手順



具体的な手順として、まずはアルバイト先やキャンパス近くの生花店の協力を得る

廃棄される花の品種、重量、状態を一定期間記録し、どの時期にどのような花がどの程度廃棄されているかの基礎データを収集する

回収した花弁から精油を抽出する

花の鮮度や品種ごとの最適な抽出条件（必要な花の量、蒸留時間など）を明らかにする

抽出されたアロマオイルの香りの質や収量を評価し、ルームスプレーやサシェなどの試作品を開発する